

	チェック項目	はい		どちらとも いえない		いいえ		改善目標 工夫している点など
		数	比率%	数	比率%	数	比率%	
環境 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	100	0	0	0	0	療育室の面積は法的に充分である。利用定員については日々確認している。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	100	0	0	0	0	・法令で必要な人数以上の職員を配置し、障がい児教育の経験ある保育士を採用している。 ・専門職として、福島県の資格を有する、児童発達支援管理者および相談支援専門員の専門性のある職員を配置している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	75	1	25	0	0	1階のみのワンフロアで、車いす対応のトイレおよびバリアフリーの入りが設置されている。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	75	1	25	0	0	朝はその日の療育について打ち合わせをし、夕方は終了が療育についての反省を行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	100	0	0	0	0	2020年1月に行った自己評価アンケートを、2020年2月ホームページに公開(更新)する。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	100	0	0	0	0	保護者向け自己評価表及び事業所向け自己評価表を2月中旬にホームページ上に公開(更新)する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	75	1	25	0	0	第三者評価による外部評価は行っていない。雲長舎内グループ内の別な事業所で評価を担当する職員を立て評価をしている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	100	0	0	0	0	3事業所と合同で、施設内研修を児発管および保育主任が担当で月一回行い、年3回外部講師を招いての研修も行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	100	0	0	0	0	朝のミーティングの中で子どもたち一人ひとりについて話し合い、情報を収集している。6か月ごとのアセスメントやニーズや変化のあった場合は事業所内支援会議を開き支援計画を立てその後、保護者を招きケース会議を開きしている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	75	1	25	0	0	子どもたちの発達状況に応じて、3つの統一したアセスメントツールを用いアセスメントを行っている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	100	0	0	0	0	朝のミーティングで、その日の療育について話し合い療育プランを作成している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	100	0	0	0	0	プログラムは前日のプログラムから見直し改善することや継続することなど考慮し固定化しないように立案している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	100	0	0	0	0	平日は学習支援、SST、グループ活動を中心に、休日などは余暇活動として郊外療育、調理、工作など立案している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	100	0	0	0	0	いぶきの療育は、個別支援小集団での活動を日々の療育の中で組み合わせ行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	100	0	0	0	0	必ず朝のミーティングを行い療育内容を検討したり送迎療育などの役割分担をしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	100	0	0	0	0	送迎から戻り職員が揃った段階で、本日の療育について反省、気付きなどを話し合いを行っている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	100	0	0	0	0	0	当日メモ、打ち合わせの記録などを取り、翌日ケース記録や療育日誌を記入、児童発達管理責任者が確認している。		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	100	0	0	0	0	0	新規の児童は3ヶ月通常は6ヶ月に一度モニタリングを行っている。ニーズの変化、目標の達成などにより、短い期間で行う事もある。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3	75	1	25	0	0	0	療育計画の中にガイドラインで示されている、自立支援と日常活動、創作活動、余暇活動などの基本活動を、組み合わせ療育に取り組んでいる。		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	100	0	0	0	0	0	相談支援事業所の相談支援専門員が訪問してきたり、児発管が訪問し担当者会議を行っている。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	100	0	0	0	0	0	下校時間の変更、不審者情報、学級閉鎖などの情報を学校からいただき双方で連絡の調整を適切に行っている		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	1	25	4	100	0	0	医療的ケアが必要な児童は現在不在である。利用するようになった場合は行う予定である。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	75	0	0	1	25	0	0	幼児期の情報をいただいたり、こちらの情報を提供し相互理解に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	75	1	25	0	0	0	0	当事業所では今年度は該当する児童がないが、必要であれば提供し連携を図ってきたい。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	50	1	25	1	25	0	0	25	訪問を受け話し合いや助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	75	1	25	0	0	0	0	0	現在は行われていないが、今後の検討事項としてあげている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	75	1	25	0	0	0	0	0	いぶきの3事業所で代表1名が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	100	0	0	0	0	0	0	0	連絡ノート、療育の記録を使い療育や子どもたちの様子を伝え、共通理解を図っている。送迎の際に、保護者の方に子どもの様子を伝えられるように、保護者からの情報は必ず伝え共有を図っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	50	2	50	0	0	0	0	0	面談や相談などで、困り感があったり必要だと判断した際は、ペアレント・トレーニングなどを行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	100	0	0	0	0	0	0	0	入会時や更新および内容に変更があったときは丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	100	0	0	0	0	0	0	0	午前中を中心に相談を受ける時間を設け助言および支援をおこなっているが、開所時間はいつでも受ける体制でいる。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	75	1	25	0	0	0	0	0	今年度芋煮会を行い、保護者同士の交流、職員との交わりの時間を設けた。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	100	0	0	0	0	速やかに対応できるように関連機関と連絡体制などを構築している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	100	0	0	0	0	奇数月の年6回、3グループで通信(会報)を発行し、療育、子どもたちの様子、連絡事項など発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	100	0	0	0	0	事例交付時に個人情報取り扱いについての契約書を交わしている。書類等の取扱は厳重注意して行い、施設内の情報を他では話さないように日々職員に伝え、個人情報の入った不要な文書はシュレッターをかけ処分している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	100	0	0	0	0	相手の方が理解できる様に考慮しえ意思疎通や情報伝達が適切に行えるように支援している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	2	50	2	50	当事業所では実施していない。今後の検討事項としてあげている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	75	1	25	0	0	・昨年2月から施設入口にファイルを設置し閲覧できるようにしている。 ・職員では共通理解を図るために読み合わせを定期的に行い、保護者には入会時、モニタリング時に確認していただいている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	75	1	25	0	0	年3回行ってきている。3月発行の通信に、訓練の様子を記事に載せる予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	100	0	0	0	0	基幹センターから講師を派遣していただき3事業所合同で、年1回定期的に行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	25	2	50	1	25	現在身体拘束が必要な児童は在籍していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	3	75	1	25	食物アレルギーについては入会およびアセスメントの時に伺い、フェースシートに記入していただいている。今現在保護者からの聞き取りに基づき対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	100	0	0	0	0	0